

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立文学館	所管課	教育委員会 学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-5-35	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月2日
指定管理者	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立文学館設置及び管理条例		
設置目的	文学に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○建築面積 約 3,258㎡ ○建築延面積 約 6,168㎡ ○鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階(一部3階)建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示室2室(998㎡) ・閲覧室(246㎡) ・研修室3室(159㎡、150人) ・講堂(655㎡、509人) ・個人研究室2室(7㎡) ・共同研究室2室(27㎡) ・収蔵庫(235㎡) ・書庫(412㎡) ・ロビー ・事務室 ・喫茶 等 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の承認に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ・一般展示室及び工房等を一般の使用に供することに関する業務 その他県教育委員会が必要と認める業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県内には公立3館(三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館、横溝正史館)が存在。ただし、山梨県立文学館に匹敵する規模ではないため、比較は困難である。
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	138,631	183,915	113,488	
	利用者数合計	138,631	183,915	113,488	
	目標値	128,800	123,200	113,300	111,500
	目標値設定の考え方及びその理由	文学館の入館者総数(茶室等公園施設利用者を含む)			
	対25年度比	-	132.7%	81.9%	80.4%
利用率		444人	597人	366人	364人

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	91,441,000	97,481,000	97,481,000	107,697,000
	その他	6,127,000	5,157,000	3,536,000	5,415,000
	収入合計(A)	97,568,000	102,638,000	101,017,000	113,112,000
支出	人件費	39,171,000	39,051,000	39,409,000	39,700,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	65,039,000	63,587,000	71,695,000	73,412,000
	うち外部委託費(B)	40,253,000	39,683,000	39,682,000	40,253,000
支出合計(C)		104,210,000	102,638,000	111,104,000	113,112,000
収支差額(A-C)		△ 6,642,000	0	△ 10,087,000	0
外部委託比率(B÷C)		38.6%	38.7%	35.7%	35.6%
利用者一人当たりの経費		497	860	859	966

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:来館者へのアンケート 回答数 :229人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設設備の充実度	73.0%	26.0%	0.5%	0.5%
②施設設備の整備状況	74.8%	23.3%	1.4%	0.5%
③サービスの内容	73.0%	25.0%	1.0%	1.0%
④また来館したいか	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%
施設全般の満足度	67.8%	31.2%	0.0%	1.0%

利用者の意見	<p><肯定意見> 展覧会の内容、施設の雰囲気、スタッフの対応(接遇)、観覧料金</p> <p><否定意見> ネット環境の充実、展示室内の椅子について、ショップやカフェの充実、交通アクセス</p>
利用者の意見への対応	<p>1週間に1度、アンケートの内容を県直営部門、指定管理が共有し、対応を協議している。緊急度の高いものやソフト面でカバーできるものを優先に実施している。講堂については老朽化もあり設備の維持管理が困難になってきているが、お客様の安全を第一に予算取りを検討し、順次実施している。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施。法令順守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。また、緊急度が高い案件は、県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することができた。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
運営業務	業務計画書に基づき知見豊かな職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入館者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。また、突発的な事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことができた。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
利用状況	特設展「芥川龍之介の夏休み」を夏休み時期に開催し、小学生を中心に好調だった。企画展「俳句百景展」も俳句大会を会期中に開催する等来館者増に繋がった。利用実績としては常設展、企画展・特設展共に計画にやや届かずだったが、自主事業として行った公園での事業への参加者が目標を上回り、文学館・公園をあわせた利用者数目標に達することができた。	ポスターの掲示や雑誌への掲載、WEB広告、他の民間事業者とのタイアップなど、様々な媒体を用いて積極的な広報を行っている。 今後も目標値の達成ができるよう、広報活動・利用者サービスの充実に取り組んでほしい。
収支状況	電気・灯油共に節減を進め、使用量を震災時並みに抑える事ができたこと、電力会社の見直し等により単価抑制に努めたこと、また原油価格が下落したことが奏功し、光熱費の大幅な削減に至っている。また、その削減した費用を新たな事業活動等に使用することで、活動の充実を図ることができた。※電気代について、計画値は全額山梨県立美術館に計上をしたため0円。実績値は6,045千円を計上している。※3施設一体管理であり、トータルでは黒字会計	電力自由化による新電力事業者の活用など、効率的な維持管理を行っている。今後もより一層の効率化に努めると共に、削減した経費の利用者還元にも努め、利用者サービスの向上を図ってほしい。
自主事業	今までに培った知見を最大限に発揮し、県直営部門と十分協議し、連携した活動として自主事業を実施。また、指定管理者が持つノウハウを活かし、県直営部門が実施する事業にも幅広い分野で協力するなど、賑わい創出に一助を担うことが出来た。	民間事業者のノウハウを活かし、効果的に事業を展開しており、新規客層の開拓など、入館者数の確保に寄与していると考えられる。 今後も柔軟な発想により新規入館者の開拓・利用者サービスの向上に向けて取り組みを行ってほしい。
利用者満足度	全体として昨年に比べ「満足・十分」と回答された比率が増加した。一方、「また来館したいか」「施設全体の充実度」のポイントが減少しているため、お客様のご意見を把握し、満足を得られる活動が展開できるよう取り組んでいきたい。	毎月の定期報告における苦情・要望等への対応は概ね適切であると思われることから、引き続き利用者満足度の向上に努めてほしい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>業務仕様書等に示された業務を適切に実行。入館者の獲得目標として掲げていた数値も達成し、1年間を通じて賑わいを創出することが出来た。また、県直営部門の協力を得て新規自主企画事業にも積極的に取り組むなど、館一体となった活動を推進し、賑わいの創出に繋げることができた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>県直営部門と連携し、経費の削減や広報活動の拡充など、効率的な運用管理を行っている。 今後は、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、外国人対応の充実等、より一層の利用者増加、利用者サービスの向上に努めてほしい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>県直営部門と連携し、効率的な管理運営を行うとともに、広報活動や外国人対応に向けたスタッフ教育等の充実により、一層の利用者増加・サービスの向上に努める。</p>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

